

2020年度 メリー★ポピンス 南蒲田ルーム 事業報告書

(保育所における自己評価)

1 2020年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

乳児のみが通う園として、改めて「養護」の大切さを意識した保育を展開することに努めた。職員間での日々の振り返りや子どもの姿の共有に加え、地域公開講座での「アタッチメント」に関する学びや近隣系列園との勉強会での「養護」に関する学び。それらを通して、「どろんこの子育てで身に着く6つの力」あるいは非認知能力に繋がる、安心できる保育者との信頼関係の構築や安全で夢中になって遊びこめる環境設定に努めることができた。また、ワンルームではあるが、その中でも月齢や発達、個々の体調等に合わせて、個々に合った環境や活動を提供することで、子どもが安心・安全を感じながら、心地よく過ごす姿が見られた。

異年齢での関わりも自然と生まれる環境であり、異年齢ならではの葛藤やトラブルを経験しながらも、年下の児は年上の児の姿に触発されて何かに挑戦してみたり、年上の児は年下の児のお世話をしてみたり、互いが意識し合う関係性を見ることができた。

基本方針で挙げた、子どもの「表現」に繋がる環境構築は、取り組み、内容、共に課題が残る結果となった為、引き続き、次年度の目標の一つとする。

振り返り

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

通年で各会議や近隣系列園との勉強会に参加し、様々な視点に触れたり、刺激を受けたりすることで自園での学びにも良い影響が見られた。下期に入ると、職員自らが日々の振り返りや計画、学び合いの時間を設定し、ドキュメント日誌や保育ウェブを取り入れながら、子どもの姿や興味に合った保育を展開できるように努めることができた。

自主性、継続性、質の高い記録や計画は、引き続き来年度の課題とし、より良い保育を追求していきたい。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

「おもてなし係」を配置することで、全職員が、保護者が心地よく送り迎えを行える環境や相手の立場に立った送り迎えの対応を意識することができた。

公開講座では「アタッチメント」についての講義を行い、園に通う乳児期に大切な関わり方や伸ばしたい力、家庭でできるふれあい遊び等を伝えることができた。

日々のコミュニケーションやポートフォリオの掲示、ドキュメンテーションの掲示は、引き続き、来年度の課題とする。

〈3〉 地域の子育て支援事業

コロナ禍にあり、日々の生活の中で地域との繋がりを見出すことが難しい状況であったが、新たなチャレンジとして、オンラインでの地域公開講座を開催することができた。保護者、外部の参加者は、それぞれ3家庭、1名と決して多くはなかったが、保育者の専門性を活かした支援ができた。保護者からは「噛み砕いた説明でわかりやすかった」「子育てに関する知識を教えてもらい参考になった」「オンラインでの開催が良かった」「内容が少し難しかった」「音声だけの講座があっても良いのでは」等、貴重なご意見をいただいた。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

法人内会議「保育の質を上げる会議」「リーダー会議」「主任会議」に定期的に参加できる体制を整え、各会議でうまれた課題は職員間、職員・施設長間で連携、共有することで、園全体で取り組んでいくことができるようになってきた。

今年度取り入れた近隣系列園とのエリア研修では、他園職員の取り組みや視点から学びを深めつつ、大勢の前で、自らの言葉で語るという機会を設けることができた。この機会は職員の自信につながったと感じる。

職員一人ひとりの「学び」への意識が高まった年となった。

〈5〉 発達の学びと子ども理解

職員と共に振り返りの時間の確保に努め、時間を設定することで、日々の子どもの姿や発達の共有が定着してきた。昼礼ではポートフォリオやドキュメンテーションの作成、担任週会議では「保育ウェブ」を活用した週の振り返りと計画を行い、子ども理解に努めた。

質のある記録や振り返り、子どもの姿からの計画は、引き続き来年度の課題とし、日常の会話の中で自然と子どもの姿の共有ができるような保育者集団を目指していきたい。

〈6〉 主体的に動ける環境の構築

全職員で改めて日常生活の節目となる場面の振り返りを行うことで、導線を意識した環境や子どもが自分のことは自分ですることのできる環境を提供することができた。

遊びの環境は四半期ごとに子どもの姿や発達を考慮しながら見直しを行うことで、子どもが自ら選択して、集中して遊ぶことのできる環境の構築に努めた。

子どもが自ら様々なものとふれあいながら夢中で遊びこめる環境の構築を次年度の課題とする。

〈7〉 食育

自園の昼食は提携先から配達していただいた弁当での提供であったが、子どもたちの食事の様子から皿に盛りつけての提供に変更した。そのひと手間が、食事への意欲、食具を使ってスムーズに口へ運ぶ動作、子どもたちによる配膳、片付けへとつながった。また、系列園と連携することで、自園調理での提供であるおやつも、食材や味付け、カロリーなどを意識した、前年度に比べて質の高い内容となった。

コロナ禍にあり、クッキングの実施は貧しかった為、感染症対策を講じたクッキングの実施を来年度の課題とする。

2 児童利用状況

月極利用児童受託状況

※定期利用契約児童は二段に分け下段に記載

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半：4~9月	9人	4人	4人	0人	0人	0人	17人
年度後半：10~3月	9人	4人	4人	0人	0人	0人	17人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総人数	1人	0人	5人	18人	16人	21人	16人	14人	6人	5人	0人	0人	102人
うち0歳児	0人	0人	3人	2人	2人	7人	1人	3人	1人	4人	0人	0人	23人

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち0歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

(解説) 登録者・・・0歳児2名。利用はなかったが、今後も受け入れ体制を整えていく。

3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

4 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	3人	保育士	3人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	0人
パート職員	3人	保育士	2人	補助	0人	事務	0人	調理	0人
再雇用職員	0人	用務	0人						
嘱託職員	0人	嘱託医	0人	言語聴覚士	0人	臨床心理士	0人		

職員在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	6人	6人	6人	6人	6人	6人	7人	6人	6人	6人	6人	6人	73人
うち施設長	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	12人
うち保育士正規	2人	2人	2人	2人	2人	3人	3人	3人	2人	2人	2人	2人	27人
うち保育士パート	3人	3人	3人	3人	3人	2人	2人	2人	3人	3人	3人	3人	33人
うち看護師	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち調理員	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち用務	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち事務	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち産休育休	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

5 運営報告

〈1〉 -1 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園会議	17日 3名	15日 3名	19日 3名	17日 4名	21日 2名	18日 4名	16日 6名	20日 3名	18日 4名	15日 4名	19日 6名	7日 3名
給食運営会議	17日 3名	15日 3名	19日 3名	17日 4名	21日 2名	18日 4名	16日 6名	20日 3名	18日 4名	15日 4名	19日 6名	7日 3名
事故防止委員会	17日 3名	15日 3名	19日 3名	17日 4名	21日 2名	18日 4名	16日 6名	20日 3名	18日 4名	15日 4名	19日 6名	7日 3名
ケース会議	17日 3名	15日 3名	19日 3名	17日 4名	21日 2名	18日 4名	16日 6名	20日 3名	18日 4名	15日 4名	19日 6名	7日 3名
担任週会議 (毎週金曜日)	2名	2名	2名	2名	2名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名

-2 出席した施設外会議

下段は参加者名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長会議 /法人本部	7日 石原	12日 石原	2日 石原	7日 石原	- -	- -	- -	10日 石原	- -	5日 石原	- -	
保健会議 /法人本部		- -		15日 石原				- -			- -	
食育会議 /法人本部		- -		15日 石原				- -			- -	
施設長勉強会 /法人本部	21日 石原	19日 石原	16日 石原	28日 石原	- -	- -	- -	- -	22日 石原	- -	16日 石原	16日 石原

〈2〉 各種係を設置しスタッフ全員が参加して運営しました

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	チェックリストを用いての衛生点検・保育室の環境整備に努めた。上半期、下半期で掃除チェックリストの見直し・改善を行い、園の清潔維持に努めた。
安全対策係	自園のヒヤリハットやインシデントに関して共有、検証を行い、事故防止につなげた。また、系列園の事故報告の傾向を探り、対策を練ることで自園の事故防止へとつなげた。
防火管理者	毎月の避難訓練を行い、災害時の保育者間の連携を深めた。また、昼礼や園会議にて振り返りを実施し、災害時の対応への理解を深めた。
食品衛生管理係	調理・調乳などの衛生管理を行い、安全な食事を提供できるようにした。
畑係	プランター菜園、畑仕事の年間計画を職員に周知し、計画的に活動できるように努めた。

生き物係	生き物の世話や水槽の清掃などを子どもと一緒にいき、子どもの興味を引き出した。
------	--

〈3〉 対外的に以下の係を設置し活動しました

係名	活動の様子・省察
各行事	新型コロナウイルスを考慮したうえで、行事内容の計画や職員への周知を行い、計画的にねらいを持った行事を行うことができた。
おもてなし係	保護者、見学者、地域の方々が気持ち良く来園できるような環境設定やおもてなしに努めた。

6 保育・処遇

〈1〉 保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての子どもをすべての職員で見守り、様々な行動や欲求に適切に応えながら信頼関係を築いていくことで、子どもが安心感をもって過ごせるように努めた。 ● 個々の子どものニーズを大切にしながらも、子ども同士の関わりや関係性がスムーズに進むよう、集団全体の動きにも注意を払うことで、子どもたちが安心して過ごせるようになった。 ● 子どもが夢中になって何かに取り組んでいる際は、必要以上に子どもの主体性を侵さないように努め、子どもの自我の発達や「やりたい」に寄り添った。
保育参加	4～3月まで 参加なし (3月1日時点)
保護者面談 および発達 相談	4～3月まで 合計2名 が実施済み (3月1日時点) <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの発達や園での様子に関する相談。園での様子と家庭での様子を伝え合い、保護者の願いを取り入れることで、子どもと保護者にとってより良い関わりが持てるように努めた。
園児の保護 者への支援 および意見 要望への対 応	<ul style="list-style-type: none"> ● 園児の登園予約の方法や請求内容に対してご意見をいただいた。園の案内不備があった為、謝罪と請求内容の見直し、予約方法のレクチャーを行うことでご理解をいただいた。また、園内では全職員で改めて予約方法や請求内容についての確認の時間を設け、再発防止に努めた。 ● お迎え対応や受け答えに対してご意見をいただいた。ご意見の通り、対応や受け答えにご不快な思いをお掛けした事実があった為、その事実をしっかりと受け止め、謝罪した。全職員で接遇や対応を振り返る時間を設定し、再発防止に努めた。
運営委員会	● 実施なし

〈2〉 計画した年間行事の振り返り

- 別紙「2020年度年間計画表」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営状況

- 乳児の身体～口腔発達を意識し、職員同士で意見を出し合いながら、個々に適した食事が提供できるように努めた。
- 季節や行事に合わせた花で食卓を飾るなど、子どもたちが楽しく食事ができる環境を考え、設定することができた。
- 弁当提供から配膳方法を工夫し、皿に盛りつけての提供にすることで、子どもたちの食べる意欲や自分で片付ける意欲につなげることができた。
- 系列園と連携することで、自園調理であるおやつも質の高い内容での提供が可能となった。

〈4〉 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月11日／11月12日に実施
歯科検診	6月5日に自園にて実施
保健だより	毎月25日に児童数にて配布
スタッフ健康診断	10月31日に各会場にて実施
スタッフ検便	毎月5日
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	① 4月、12月に保育室にて手洗い指導を実施 ② 6月、1月に保育室にて歯磨き指導を実施
流行した感染症	流行した感性はなし
発作・痙攣等の対応	ダイアップ使用なし その他、救急車要請なし
エピペン使用できるスタッフの状況	本日時点で、在籍スタッフ6名のうち、6名が使用できる。
AED使用できるスタッフの状況（AED設置施設のみ）	AED設置なし
その他保健に関する取組	・新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行った。また消毒・換気を徹底した。 ・嘔吐処理やおむつ交換のロールプレイを行い、感染症予防へと繋げた。

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	5・7・9・11・1・3月の25日に計6回実施済み
	事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	11月に実施済み
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施⇒実施していない日0日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施⇒実施していない日0日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施⇒実施していない日0日

	検便・細菌検査結果通知書の状況	4月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		5月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		6月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		7月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		8月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		9月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		10月	在籍スタッフ7名中 結果有7名/結果無0名
		11月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		12月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		1月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		2月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
		3月	在籍スタッフ6名中 結果有6名/結果無0名
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認/保険証期限確認	年2回/4・10月に実施済み	
	身長体重測定	毎月1回/20日 実施済み	
	児童健康診断	年2回/6・11月 ⇒6月11日、11月12日に実施済み	
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回/4・10月の園会議時 ⇒4月17日、10月16日に実施済み	
	コンピテンシー自己採点	毎月1回/園会議冒頭5分間 実施済み	
	利用者アンケート調査	8月24日～9月5日に実施済み	

〈6〉 実施した環境整備の状況

- ・新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、消毒・換気を徹底し、子ども並びに保育者が安心して生活を共にできるようにした。
- ・子どもの体調や様子に合わせて、ゆったりと過ごせる空間や午前寝ができる環境の設定をその都度行い、子どもが心地よく過ごせるようにした。
- ・子どもの成長や興味・関心から室内環境を構築することで、子どもが自ら遊びを選択したり、挑戦したりする姿が見られた。
- ・子どもの姿や発達に合わせて手作り室内遊具を作成し、「体を動かしたい」「力を発揮したい」という欲求に応えることで、室内でも気持ちを発散しながら活発に過ごす姿が見られた。

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- 月1回の避難訓練や年2回の不審者侵入訓練を実施し、災害時の保育者間の連携を深めた。また、昼礼や園会議にて振り返りを実施し、災害時の対応への理解を深めた。
- 3ヶ月に一度事故防止チェックリストで点検を行い、6ヶ月に一度設備点検リストに沿って設備点検を行うことで安全に努めた。
- 事故防止委員会にて自園のヒヤリハットやインシデントに関して共有、分析を行い、事故防止につなげた。また、系列園の事故報告の傾向を探り、対策を練ることで自園の事故防止へとつなげた。

- 東京都環境局による「光化学スモッグ注意報等のメール送信」の登録を行い、発令・解除の緊急時情報を取得し、対策を講じた。
- 施設長が定期的に散歩に同行し、公園や散歩ルートの危険個所の確認や子どもの見失いの防止等に努めた。

8 実習生・中高生の受入

受け入れなし

9 スタッフ研修

① 園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー 研修自己採点	17日 6名	15日 6名	19日 6名	17日 6名	21日 6名	18日 6名	16日 6名	20日 6名	18日 6名	15日 6名	19日 6名	7日 6名
スキルアップ研 修	17日 3名	15日 3名	19日 3名	17日 4名	21日 2名	18日 4名	16日 6名	20日 3名	18日 4名	15日 4名	19日 6名	7日 3名

② 外部研修への出席

出席なし

③ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保育スキル講座	-	-	-	-	-	-	-	20日 3名	-	-	-	-
業務改善研修(保 育の質会議)	21日 1名	21日 1名	21日 1名	21日 1名	-	-	-	-	21日 1名	-	21日 1名	21日 1名
主任会議	-	-	-	-	-	17日 1名	-	19日 1名	-	21日 1名	22日 1名	-
全社員研修	第1回：12月18日に動画視聴にて実施。6名のスタッフが出席											

10 地域交流

新型コロナウイルス感染流行の影響もあり、積極的な地域交流は計れなかったが、日々の散歩での挨拶や公園での活動、食材の買い物等を通して、地域の方との交流の機会を設けることができた。また、オンライン講座を通して、子育てについてのやり取りを行うことができた。

実施した地域交流

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：3丁目公園にて
商店街ツアー	週1回 主な行き先：八百屋、パン屋、肉屋、魚屋、精米店、郵便局等
世代間交流	新型コロナウイルス感染流行の影響もあり、実施なし
異年齢交流	新型コロナウイルス感染流行の影響もあり、実施なし
子育てスキル講座（地域公開講座）	11月20日にオンラインにて地域公開講座「アタッチメント」を実施

11 小学校との子ども間交流・職員間交流

実施なし

12 要支援児

【個別支援計画の作成・見直しの状況】家庭での様子や保護者の願いを取り入れながら計画を作成した。また、職員間での情報共有を密にし、必要に応じて、その都度見直しを行った。

【毎月のケース会議開催の状況】4～3月に計12回開催 参加者：3名

皆で成長を見守る方針のもと、それぞれの視点での気づきを共有することで、対象児の理解や必要な支援に努めた。

【進級引継、および、小学校への引継状況】

対象児なし

13 子育て支援事業

2020年度自然食堂・ちきんえっぐイベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	4名	4名	12名	14名	11名	6名	16名	6名	4名	3名	3名	93名

園開放	(月)～(金) 9:30～16:30 にて実施
子育て相談	(月)～(金) 13:00～16:30 にて実施

14 福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

15 苦情解決のうち報告すべき事項

- ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図った。
- 今年度、外部窓口となっている「第三者委員計4名」へ寄せられた苦情は0件。

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2021年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 南蒲田ルーム 施設長 石原幸太